

社会の課題解決に 貢献する企業をめざして

西日本電信電話株式会社
代表取締役社長

村尾和俊



私たちは、社会の課題解決に 貢献する企業をめざします

私たちを取り巻く社会は、少子高齢化、地域格差、自然災害、インフラ老朽化をはじめ、教育、保育、医療、観光、農業等、さまざまな分野で課題が顕在化するとともに、高度化、複雑化しています。

このような中、2015年、国連においてSDGs（持続可能な開発目標）が採択されましたが、今や企業には、経済的発展だけでなく、さまざまな社会課題の解決への貢献が強く求められています。

NTT西日本グループでは、ICTが社会課題の解決に重要な役割を担っているとの考えのもと、「社会の課題解決に貢献する企業」との事業方針に則り、SDGsの動向も踏まえ、2017年、CSR活動方針の見直しを行いました。

新たなCSR活動方針では、事業活動を通じて社会課題の解決を図るとともに、電力消費等、事業活動により生じる負の影響を最小化することで、社会の持続的発展や人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな地域社会の実現に貢献していくことをめざしており、具体的には「人・モノ・地域がつながる安心・安全な社会づくり」、「イノベーションの創出による豊かな社会づくり」、「環境と共生した社会づくり」、「いきいきと輝く社会づくり」、「コンプライアンスの徹底」の5つのCSRテーマを掲げ、CSR経営を推進していくこととしています。

私たちは、事業活動を通じてSDGsに 貢献していきます

NTTグループは2016年9月にSDGsへの賛同を表明

しましたが、NTT西日本グループにおいても、「社会の課題解決をめざす」という事業方針そのものがSDGsの実現につながることから、日頃の事業活動を通じてSDGsへの取り組みを積極的に推進していくこととしています。この点をよりわかりやすくステークホルダーの皆さまにお伝えするため、「NTT西日本グループCSR報告書2017」では、NTT西日本グループの事業活動とSDGsの関連付けを行うこととしました。

また、NTT西日本グループ内においても、経営幹部が率先してSDGsの取り組みを推進するとともに、社員に対しては、eラーニングによる理解促進、ホームページ・ポスター・ポケットカード（社員全員が携帯）等の啓発活動を展開しており、NTT西日本グループをあげてSDGsを推進しているところです。

「人・モノ・地域がつながる安心・安全」をお届けする、 それが私たちの使命です

社会を支え、生活を守る重要なインフラを提供する事業者として、災害やセキュリティにも強い情報通信サービスの提供に努めています。2017年7月、福岡県から大分県にかけ発生した九州北部豪雨においては、被害に遭われた皆さまの情報収集や、被災情報・避難情報等の自治体からの発信を円滑に行うため、公衆無料Wi-Fiや特設公衆電話を避難所に提供するとともに、日常生活をいち早く取り戻すための通信設備復旧に総力をあげて取り組みました。

また、近年、企業や自治体等の機密情報や個人情報等をねらうサイバー攻撃被害が深刻化していることを踏まえ、これまでのセキュリティ部門を統合した「MC-SOC（Managed Cloud Service Operation Center）」を立

ち上げ、より高度なセキュリティオペレーションをワンストップで提供する体制を整え、社会からの強い要請であるセキュリティ分野での課題解決に取り組んでいきます。

「イノベーションの創出による豊かな社会づくり」に 取り組んでいきます

2017年8月、NTT西日本グループは、光アクセスサービス（フレッツ光、コラボ光）の900万契約を達成しました。2001年のサービス提供開始以来、高速・大容量のインターネットアクセス回線としての利用に加え、さまざまな用途に利用の場を広げながら、暮らしやビジネスを支えるサービスとして、発展・成長してきました。2016年度に策定した中期経営戦略「飛躍のステージへ」において、「光コラボレーションモデルの推進」と「アライアンス型営業」による光サービスの拡大を展開し、今後も光アクセスサービスの基盤拡大とICTを通じた課題解決「スマート光ソリューション」を組み合わせ、多様なパートナー企業さまとのアライアンスを進めながら、「豊かな社会づくり」、「社会課題の解決」に貢献する企業をめざしていきます。

また、社内・社外を問わず、多様な個性を持つ人材の多様な価値観やアイデアを経営・サービス開発に活かし、イノベーションの創出につなげることも重要だと考えています。具体的な活動の例としては、若手社員が社外活動を通じて他企業とのコラボレーションや意見交換を活発に進めたり、グループ会社の女性社員による「現場環境改善PT」で各支店からの現場の改善につながる声を収集し、改善活動に取り組んだこと等があげられます。今後も、光サービス基盤の拡大、スマート光ソリューション、アライアンスの推進、多様な個性の活躍推進に注力し、「イノベーションの創出による豊かな社会づくり」に取り組んでいきます。

持続可能な発展を実現するため、 地球環境の保全に貢献していきます

当社は、事業を通じて年間18.2億kWhという大量の電力を使用しており、その責務として、環境問題の解決に積極的に取り組んでいます。NTT西日本グループ地球環境憲章によって、地球環境保全に社員一丸となって取り組むという基本理念と方針を明確にするとともに、環境ブランドデザインの達成に向け、使用電力量の大きい通信ビルを中心に、温度環境の見える化、空調効率の改善等、電力使用削減の推進に取り組んでいます。

また、生物多様性保全に向けては、「みどりいっぱいプ

ロジェクト」と銘打ち、グループ社員やその家族の参加による植樹や里山保全等、年間1万人規模で地域密着型での自然保護活動を行っており、これからもグループ総力をあげて、地球環境と共生した社会づくりに貢献していきます。

「いきいきと輝く社会づくり」、 「コンプライアンスの徹底」を通じ、 企業としての社会的使命を果たします

こうした社会課題解決への貢献において、その要であるのは、「人」です。「安全労働」や「健康経営」を推進していくとともに、「働きがいのある職場の実現」への取り組みを進めています。2008年より「ダイバーシティ推進」の取り組みを開始し、社員一人ひとりが持つ「ちがいを個性として尊重し、多様な能力やアイデア、価値観を活かした業務運営を行っております。また、だれもが自分らしく働ける環境づくりを行う一環として、NTT西日本、愛媛県、松山市の三者で締結した「連携と協力に関する協定」の連携事項「子育て支援」に基づき、企業内保育所「ゆめみいよ保育園」を2017年10月に開設しました。ICT企業としての強みを活かし、CO₂センサーや電池交換不要の温湿度センサーを設置し、保育室内の温度・湿度・CO₂濃度を常に計測・監視して、空気の状態を示す「快適度マップ」を遠隔地から閲覧できる等のしくみも導入しました。今後も多様な人材がいきいきと輝ける、働きやすい職場環境づくりの取り組みを推進していきます。

「コンプライアンスの徹底」については、事業活動の基盤と考えています。「業務上の不正」「飲酒運転」「パワーハラスメント」「情報セキュリティ事故」の根絶、「人権の尊重」からなるCSR重点5項目を遵守するとともに、法令の遵守、人権意識の醸成について取り組む中で、各組織においてさらなる「風とおしの良い職場づくり」に向けた施策を推進していきます。

CSR経営を加速させ、 ステークホルダーの皆さまと歩み続けます

私たちは、2016年度に策定した中期経営戦略「飛躍のステージへ」に基づき、NTT西日本グループの総力をあげ、さらにはパートナー企業の皆さまとも協力しながら、新たなCSR活動方針に沿ったさまざまな活動によりCSR経営を加速させ、社会の持続的発展や安心・安全で豊かな地域社会の実現に貢献していきたいと考えています。

皆さまにおかれましては、引き続きNTT西日本グループにご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。